



Application

ラットジェノタイピング

製品名

KAPA Express Extract + PCR ReadyMix (KK7151)

メーカー名

KAPA BIOSYSTEMS 社

下記フィードバックは、独立行政法人国立がん研究センター研究所のお客様のご厚意で掲載させていただきました。
ラットテール4匹分からKAPA Express Extract キットでDNAを抽出し、現在実施している方法と比較しました。

1. KAPA Express Extract キット
2. 従来法 (Proteinase K+フェノールクロロホルム処理)

PCRはKapa2G Robust HotStart ReadyMixを用いました。

操作

ラットテール



細胞溶解 — 1. KAPA Express Extract 15分 2. PK+フェノール、クロロホルム処理 1日



DNA抽出



PCR — KAPA2G Robust HotStart ReadyMix 1時間



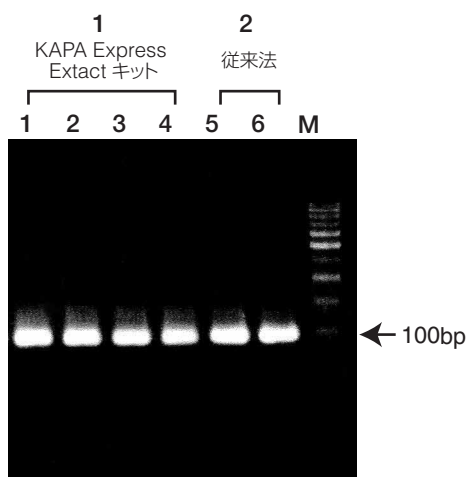
}	95°C 1分	40サイクル
	95°C 15秒	
	65°C 15秒	
	72°C 15秒	
	72°C 7分	

検出

↓ アガロースゲル電気泳動

判定

結果



- 1: KAPA Express Extract キット
- 2: 従来法 (Proteinase K+フェノールクロロホルム処理)
- 3: 100bp ラダー

- 従来法では、オーバーナイトで実施していたProteinase K処理が必要でしたが、KAPA Express Extract キットでは、わずか15分でDNA抽出処理が完了しました。
- PCR反応において、従来法と同様の明確なバンドが確認できました。



お客様のコメント

期待した通りにバンドが出現いたしましたので、有効にDNAを抽出していると考えました。
実際使用してみた感じでは、微小なサンプルから短時間で簡単にPCR可能な溶液が調製できるので有用に思います。